

平成31年度 事業計画

平成31年4月1日
おおぞらこども園

1. こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 定員 90名(実数112名)

職員配置

(平成31年4月1日現在)

内訳

- ・園長 1名
- ・事務長 1名
- ・主幹保育教諭 2名
- ・副主幹保育教諭 1名
- ・保育教諭 27名

(主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)

(わきはまこども園からの異動職員2名含む)

(産休中の職員2名を含む)

- ・保育補助 1名
- ・管理栄養士 1名
- ・調理員 5名
- ・安全指導員 2名

(淀川食品株式会社所属)

(シルバー人材派遣センター所属)

(3) 園児

- ・定員(2・3号) 90名 (実数106名)
- ・定員(1号) 15名 (実数 6名)

2. 教育・保育目標

教育基本法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。

全ての乳幼児に、“等しく”“心身ともに健全な生活と発達”“福祉と教育”を保障すべく愛ある教育と保育の振興と推進を目的とする。

- * 人権を守り一人ひとりを受容する。
- * くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- * 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にする。
- * 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- * 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。
- * 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全

な心と体づくりに取り組む。

- * 子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

3 . 教育・保育基本方針

笑顔とぬくもりある「大きな家庭・大きな家族」づくりをイメージテーマにし、子どもたちの笑顔溢れる「癒し・励まし・安らぎの場」の中で、「心からの笑顔」と「人を思いやる広い視野と心」を大切に培っていく。

- ・一人ひとりの発達に即した見通しを持ち、保護者や地域の人々との協力体制の中で保育と教育を行う事を目指す。
- ・保育と教育を総合的に捉え、異年齢交流・世代間交流・地域交流・異年齢児交流・地域子育て支援・自然環境との触れ合い等をキーワードにして、幅広い社会性と、教育や素養の一端に触れる機会を設け、慣れ親しみ、将来の知力・能力・洞察力等を育む教育と保育を目指す。

- * 笑顔であいさつができる明るい子ども
- * 人の気持ちがわかり考え行動できる優しい子ども
- * 動植物に親しむ感性豊かな探究心ある子ども
- * のびのびと遊べる元気な子ども
- * 広い視野と健康な心をもつ子ども

幼保連携型認定こども園 教育・保育要領に基づく全体的な計画を中心に、各指導内容の充実を図る。

0歳児

一人ひとりを愛し守りながら、信頼関係と心身の健康な発達を育む教育と保育。

1・2歳児

親子の愛着関係の形成を支援し、一人ひとりの自我の発達に即した、見通しを持った教育と保育。

3・4・5歳児

知的好奇心や探究心が育み、のびのびと遊び、人を思いやる心・自分で考え行動できる力・健康な体力、そして、豊かな感性を培う教育と保育。

教育・保育時間

< 1号認定 >

○開園時間（月曜日から土曜日（日曜日、祝日〔年末年始等〕を除く）

（基本時間）

月曜日～金曜日：午前9時～午後3時30分（午後3時31分以降別途有料）

土曜日：利用不可

休園日

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、創立記念日、本園の定める日

お盆期間：8/10(土)～8/18(日) 年末年始：12/21(土)～1/5(日)

春休み：3/20(金)～3/31(火)

- ・感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時
- ・災害発生時

< 2・3号認定 >

開園時間（月曜日から土曜日（日曜日、祝日〔年末年始等〕を除く）

保育短時間 午前9時00分～午後5時00分（午後5時01分以降別途有料）

保育標準時間 午前7時00分～午後6時00分

延長保育時間 午後6時01分～午後7時00分（別途有料）

休園日

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、創立記念日、本園の定める日

お盆希望保育：8/13(火)～8/17(土) 年末年始：12/30(火)～1/3(金)

- ・感染症発生により園長及び学校医が必要と認めた時
- ・災害発生時

○教育・保育内容

今年度の教育・保育共通テーマは **ステップ** とする。一人ひとりがより一層輝き、自信となるよう園生活の充実に努める。

< 各クラス研究課題 >

子どもたちへの発達段階などを踏まえた教育・保育環境を整え、研究課題をもって下記の保育と教育に努める。

あひる組 心を育む保育 ～五感を刺激する遊び～

ひよこ組 手・指をつかった遊び

つばめ組 コミュニケーション遊び

ひばり組 自然体験 ～自然に触れる～

かもめ組 ピアニカ遊び

はと組 主体性を育む

令和2年3月14日（土）に園内研修で研究課題について発表を行う予定である。

（パソコン6台とパワーポイントを使用して研修の充実に努める。）

その成果は、令和2年6月にホームページで研究内容を公開予定である。

< 具体的な取り組み >

くつろげる環境の中で自分の好きな事、あるいは得意な活動を自ら選ぶ事ができる総合的な教育・保育カリキュラムに努める。

- クラスデイ : それぞれの年齢に分かれた、通常クラスでの設定遊び。
- おおぞらカフェ : 自ら興味関心のある遊びを選択する。
- ネイチャーデイ : 立地を活かした、自然や身近な社会との触れ合いと遊び。
- フュージョンデイ : コーナー保育を活かした全年齢シブリング(兄弟・姉妹交流)ファミリー活動・土曜日保育等。

○教育・保育主体的遊び

3・4・5歳児クラス

<おおぞらカフェ> ...ピラミッドメソッド(3・4・5歳児クラスの縦割り保育)

ピラミッドメソッド保育カリキュラム 旧オランダ政府教育評価機構にて開発

おおぞらカフェの前日、各クラスでサークルタイム(担任を中心に円形になって座り話し合う時間)を行い、3・4・5歳児クラスのどこのお部屋でどんな遊びをしたいかを自分で選択し、各クラス名が明記された白板に自分の名前マグネットを貼り、翌日子どもたちは遊びを楽しみに登園します。

当日各クラスのお部屋のコーナー遊びを楽しみ、食事の時間になるとテラスにセルフサービス式のレストランをオープンします。(素敵な音楽・花や観葉植物と共に食事を頂きます)今年度から、管理栄養士がレストランで配膳のお手伝いを行います。

保育終了時(夕方)にも同じようにサークルタイムを行い、今日の活動内容等を伝え合います。

このようにサークルタイム後に、遊びを選択し、遊ぶ・食事をするという活動を、無理なくゆったりとした環境を整えます。



目的

- 一人ひとりを大切にする事
- 豊かな感性を養う教育・保育
- 将来、自立して人生の課題を処理する事が出来るように発達を促し、「指示を待つ」事がなく、登園後の自由遊び・サークルタイム・子どもがしたい遊びを見つけて遊ぶ・食事という活動を、無理なくゆったりと展開出来るように努める。

* コーナー保育を中心に展開

各クラスままごと・知育・ブロック・絵本コーナー等のコーナーの充実を図る。
0歳児・1歳児クラスの担当制保育の充実を図る。

* フェアリーキッズ(自然野外活動)

自然遊学館のご協力のもと、フェアリーキッズ活動を行う。

自然環境に恵まれている市民の森にて、子どもたちが木登り、秘密基地造り等自然環境のもとで様々な体験をし、食事は給食室で準備されたお弁当を食べ、3時頃まで自然学習を楽しむ。

きしわだ自然資料館に出掛けて本格的に自然の仕組みについて学ぶ。

○知育

4・5歳児クラス

・SIあそび

基本的に知育は、身近な生活から、聞く力・考える力・好奇心・意欲等を基準に取り入れていますが、4・5歳児クラスは、創造性教育の先駆者 J. P. ギルフォード博士の「知能構造SI理論」に基づくSIあそびを使用します。

思考力・創造力を育てる事を目的に、人間としてたくましく生きる力、自ら考え、自ら気づく力を育てる教材です。「SIあそび」は、『できた。できない。』という「結果」ではなく、子どもが何を考え、感じて行動するかという「過程」を重視する遊びです。

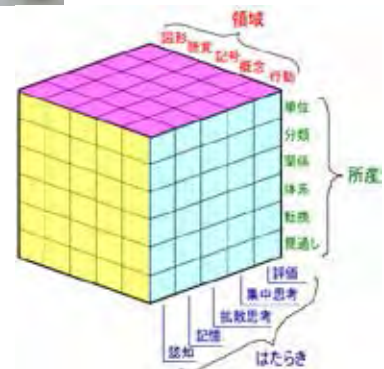
知能が処理する情報(領域)

- 図形・・・形・図形
- 記号・・・文字・数・マーク類
- 概念・・・言葉・文・絵の意味・理論・物の性質
- 行動・・・人間の感情・意思・心理



知能の働き

- 認知・・・理解する・発見する・認識する
- 記憶・・・記憶・再生
- 拡散思考・・・新しい事を思いつく・自由に滑らかに考え工夫する
- 集中思考・・・推理する・追求する・理論的に考える
- 評価・・・比較判断・選択・批判



ギルフォード博士の「知能構造モデル」は5つの領域、5つのはたらき、6つの所産の組み合わせで構成されており、計150の知能因子を想定しています。

・硬筆

4・5歳児クラス

4歳児クラスは年間17回で、最初は鉛筆に慣れ、鉛筆の正しい持ち方(クジャク法)から始まり、クルクル・ギザギザと書き、おもしろいと感じられるように進めていく。

鉛筆の正しい持ち方・姿勢・お手本(小学校教科書のひらがなを使用)・4つのお部屋(星・虹・海・花)外形(三角形・四角形・長方形等)・ボディワンワールド指導・呼吸法などを取り入れる。

5歳児クラスは年間20回で、10月頃までに清音を終了し、その後、絵カード遊び・日記を書く・イソップ物語を音読・文章の作成(作文)、文章理解に繋げていく。

また、年に8回習字を導入し、初めての墨の匂いに興味津々で、楽しみながらも緊張感を持って進めていく。5歳児クラスは硬筆も習字も午後からの活動となる。

・おおぞらステップ

5歳児クラス

その他の知育遊びとして、おおぞらステップを年間10回行っています。

おおぞらステップカリキュラムは通常の活動にも連携して展開出来るようにしています。

木製100玉そろばんをお部屋に1個置き、数を数える・大小等を遊びの中で学びます。また、一人1個のそろばんを使用して数の概念を身に付けていきます。



アトリエ工房

3・4・5歳児クラス

年間を通じて3・4・5歳児が同じテーマで製作を行います。最後のアトリエ工房で製作物を使って遊びます。

○英語遊び

4・5歳児クラス

指導者の紹介

My name is Melissa Dunstan but everyone calls me Melissa. I'm from the USA. I came to Japan in 1995 and have worked as an English teacher ever since. I teach a variety of classes from kids to adults. I'm also an English narrator. I narrate English textbooks, school listening tests, train announcements etc. I'm very excited to teach your children starting in April and I hope to meet you soon!



私の名前はメリッサ・ダンスタンです。皆はメリッサと呼んでいます。

アメリカ出身で、1995年に日本に来て以来、英語教師として働いています。

子どもから大人まで幅広いクラスで教えています。私はまた英語のナレーターでもあり、英語テキストやリスニング・テスト、電車内放送等々、多数の収録をしています。

4歳児授業内容

あいさつと自己紹介

歌 Hello, how are you? What's your name? How's the weather?

There is thunder. Where is father? I can sing a rainbow.

Heads, shoulders, knees and toes. Walking, walking.

Sunday, Monday, Tuesday. Twinkle twinkle, little star. Old Macdonald had a farm.

今日のテーマ 色・動物・買い物・果物・野菜・服・天気・身体・動詞・曜日

・家族のみんな・家の中の物 a,b,c,d,e,f,g,..... の発音・ゲーム

5歳児授業内容

あいさつと自己紹介

歌 Let's go shopping. There were 10 in the bed. Do the hokey pokey.

Doe, a deer, a female deer. We wish you a merry Christmas.

The wheels on the bus go round and round. You are my sunshine.

You fill up my senses. The animal song..

今日のテーマ・乗物・仕事・時間・I get up at 7:30・一日のする事

・I get up and wash my face.できる事 I can play the piano

・形容詞と比較する事 Which is faster・場所教える事 It's on the table.

部屋の名前 町のいろんなところ Hospital, Library, etc 職業 I'm a doctor.

英語の読み方・ゲーム

げんき工房

1・2・3・4・5歳児クラス

1・2・3歳児は、各年齢に応じた目標を設定し、マット・鉄棒・運動棒・跳び箱等を使用した、当園独自のカリキュラムを作成して取り組みます。4・5歳児は、ゲーム感覚で楽しみながら筋力や体力をつけていけるようなカリキュラムを作成し、4歳児は壁倒立、5歳児は三点倒立を目標に取り組みます。

体育指導

4・5歳児クラス

体育指導の指導員とも連携をとり、当園独自のげんき工房と、体育指導が各々の関連性をもちより効果的な指導内容となり体力強化に繋がっています。

* 2歳児クラスは園庭で、3・4・5歳児クラスは第五中学校の校庭でランニングを行います。

* 引き続き体育指導で5歳児クラスは剣道を導入しその成果を公開します。

○わきはまこども園との園児交流（5歳児クラス）

田舎体験「紀泉わいわい村」・プール遊び・雪遊び「六甲山スノーパーク」・音楽鑑賞等

園外保育

月	場所	クラス	交通手段
4月	郊外保育（海浜公園）	5歳児	徒歩
5月	郊外保育（海浜海公園） 田舎体験（紀泉わいわい村）：わきはまこども園合同	5歳児 4・5歳児 5歳児	徒歩 *バス
7月	お泊り保育（紀泉わいわい村）	5歳児	徒歩*バス
10月	郊外保育（とんぼ池公園） 貝塚市連合協議会主催 秋の集い	2・3歳児 5歳児	*バス *バス
11月	みかん狩り	4・5歳児	徒歩・電車
12月	雪遊び「六甲山スノーパーク」：わきはまこども園合同	5歳児	*バス
3月	きしわだ自然資料館	5歳児	徒歩・電車

* 0歳児～5歳児までの散歩等戸外活動を通して、自然と触れ合う事を重視した活動を行います。

* 年5回バスを利用した郊外保育実施予定。

○食育の取り組み

- ・食育活動を家庭や地域へのアピールに努める。
浜手地区公民館お知らせボードに給食だよりを掲示する。
- ・ホームページで「今日の給食」の画像を追加し、職場からでも見る事が出来るように充実を図る。食育の内容を毎月19日前後に実施する。

- ・異文化食育活動に努める。
- ・給食だよりで給食メニューを一部写真で解りやすくし、月平均栄養価に加え、毎日のエネルギー量を掲載する。
- ・離乳食の充実を図る。
- ・給食を淀川食品株式会社に移行し、充実した給食に取り組む。
- ・給食会議
園内の給食会議で給食メニュー等の改善に努める。(各月1回)
園内でも年2回、管理栄養士・園長・事務長・主幹保育教諭・調理師で行う。
- ・年間食育計画に基づいた取組みを行う。
- ・アレルギー対応に努め充実を図る。
- ・管理栄養士が給食メニューの改善(新メニュー)・栄養面・健康に至るまで食の工夫に努める。
- ・試食会(4歳児の保護者対象に年1回実施)

○給食メニューについて(管理栄養士より)

こども園の給食は、成長期の子どもたちが1日に必要とする栄養素のおよそ40%～50%を補える献立となっております。これに基づき、旬の食材を使用し、素材そのものが持つ味を活かした薄味調理を行っています。補食として大切なおやつには、カルシウムや鉄分を意識したものを積極的に取り入れています。

また、食材は卵を含まないものを使用し、食物アレルギーを持つ子どもたちを含めた全園児が同じテーブル、同じ食器で安全に給食の時間を過ごしています。

毎月の給食だよりには、給食室からのお知らせや栄養メモ、給食の献立レシピも掲載しておりますので、ぜひご家庭でゆっくりご覧ください。



○外部コンサート

- * 子どもロビーコンサート

浜手地区公民館

(5歳児クラス)

貝塚市近木町内のマーケット前

(5歳児クラス)

年間行事

月	内容
4月	・はじまりの集い ・郊外保育（海浜公園）
5月	・端午の節句 ・参観日 ・尿、0 - 157検査・郊外保育（田舎体験）
6月	・歯科検診 ・健康診断 ・個人懇談（希望者） ・参観日(祖父母)
7月	・お泊り保育 ・夕涼み会 ・七夕の集い ・プール遊び、沐浴（0歳児） ・ファミリー活動
8月	・中高生の保育体験実習 ・プール遊び、沐浴（0歳児）・ファミリー活動
9月	・芋ほり
10月	・秋の集い ・健康診断 ・創立記念日 ・運動会
11月	・みかん狩り ・消防車来園 ・郊外保育（とんぼ池公園）
12月	・ミュージックフェア ・クリスマス会 ・入園申込受付・年末の休み
1月	・お正月休み ・お正月遊び ・おおぞらウイーク ・雪遊び
2月	・節分の集い ・硬筆参観日 ・個人懇談（希望者） ・おおぞらステップ
3月	・桃の節句 ・お茶会 ・郊外保育（きしわだ自然資料館）・新入園児面接 ・卒園式

○避難訓練（防犯訓練）

月	災害状況	ねらい
4月	軽度の地震発生	地震に対する避難方向を理解する
5月	給食室から出火	給食室出火時の避難経路を知る
6月	給食室から出火 (職員対象に防犯対策)	給食室出火時の避難経路を速やかに 避難する(サスマタの使用方法を知る)
7月	地震で給食室から出火	給食室出火時の避難経路を速やかに避難する
8月	非常階段倉庫から出火 (職員に知らせない)	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞く
9月	軽度の地震発生 防犯訓練	地震に対する避難方向を理解する 防犯について知る
10月	給食室から出火 (職員に知らせない)	給食室出火時の避難経路を速やかに 避難する
11月	給食室から出火 消防署立会い訓練)	給食室出火時の避難経路を速やかに 避難する
12月	北側住宅から出火 関空社宅集会場	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やかに避難する

	(職員に知らせない)	
1月	地震に伴う津波訓練	地震に対する避難方向を理解する 保育教諭の指示で避難場所に避難する
2月	南側住宅から出火 (職員にしらせない)	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やかに避難する
3月	地震に伴う津波訓練	地震に対する避難方向を理解する 保育教諭の指示で避難場所に避難する

職員に開始時間を知らせない避難訓練や、年2回貝塚市立第五中学校の校舎3階までの避難訓練を実施予定。(津波発生を想定した避難訓練では貝塚市立第五中学校まで、通常約5分で避難完了する。)

○外部講師依頼

手話講師・絵画指導・ギルフォード社(SIあそび)

○わらべ歌の充実

保育教諭が作成したわらべ歌12カ月シリーズのCDを基本に活用する

○絵本の充実

のんびりルームに新刊100冊を目標に追加する

絵本の救急箱を設置して、破損している絵本管理していく

昨年度に購入した絵本の紹介を冊子にする

4. 子育て支援事業の充実

○こども園体験事業(スマイルキッズ・園庭開放 絵本の貸出 ・グルメランチ)

・貝塚市立二色小学校職業講話等担当・地域交流事業の充実

○小学校 (貝塚市立二色小学校)

・毎月年長児が、園だより・給食だよりを小学校に届け、子どもたちが校長・教頭先生から小学校での生活の様子を聞く(園だより、給食だよりは小学校玄関で掲示)

・おもちゃ広場(2年生と年長児)・社会見学(4年生来園)

・幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画を持参して指導内容の連携に努める

中学校 (貝塚市立第五中学校)

・津波に伴う平日の避難訓練を平成2年1月17日(木)・3月11日(月)第五中学校の校舎に避難

・2月に貝塚市立第五中学校3年生と4・5歳児クラスがふれあい遊び

・まちかど学級園(地域に配布されたビオラの苗を育てる)

・市民プールで中学生との交流

・貝塚市立第五中学校でゴーヤの収穫

○公民館 (浜手地区公民館)

- ・公民館の片隅のおおぞらブースに、子育てのアドバイス・園だより・給食だより地域子育て講座等のお知らせを掲示する
- ・5歳児クラスが公民館で子どもロビーコンサートを開催する
- ・公民館主催の人形劇鑑賞会に出演する(おおぞら劇団)
- ・茶道クラブとの交流を行う
- ・育児相談を行う
- ・園児の作品展示等行う
- ・外部からのコンサートを開催する。

地域

- ・盆踊り大会に参加する。(園児盆踊り披露、職員模擬店、踊り隊、本部迷子係)
- ・地域シニア世代交流
うぐいすクラブ(シニア世代の方々と園児が遊びを楽しむ)と交流する
老人施設を訪問し交流する

○その他

地域関係機関・団体との連携

- ・二色校区福祉委員会に参加する
- ・年3回すこやかネット会議に参加する。地域教育協議会・学校支援地域本部)
- ・常任委員会参加する
- ・貝塚市立二色小学校・貝塚市立第五中学校の入学式と卒業式に出席
- ・貝塚いぶき作業所との交流
玩具の購入・陶芸活動参加・いぶき祭りに園児の作品を展示する
- ・大阪しあわせネットワーク事業 オール大阪社会福祉法人により社会貢献事業スマイルサポ - ター<3名>が具体的に活動を行う
- ・地域機関紙(パコネット)に当園の記事の連載を行う

5. 職務担当

- ・カリキュラム・デイリープログラム等については、園長・主幹保育教諭・保育教諭が子どもの年齢と発達に応じた内容を協議検討し作成し、行事・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総指揮に努める。
- ・運営事務全般等は事務長が総指揮に努める。
- ・管理栄養士のもと調理員は調理を行い、能率よく総指揮をとる。
- ・給食職員・学校医・薬剤師・歯科医・安全指導員・英語指導員・体育指導員は外部委託契約とする。

6. 教育・保育設備

- ・緑化推進に努める
- ・教育・保育環境の備品の設備と充実を図る
(5歳児クラスは背もたれのない椅子に変更)

(1階ウッドデッキをピクニックテラスと命名し菜園活動を行う) <水道設置>

(ピクニックテラスに自働のテントを設置する)

(園庭の倉庫を新しく設置する)

- ・給食備品の設備充実を図る
- ・用具及び備品の充実を図る(熱中症暑さ指数計を行う)
- ・砂場の砂を追加する
(1ヶ月に一度園庭の砂の消毒を行う)
- ・地域コーディネーターとの連携(お部屋の玩具等作製を一年分の注文表として提出)
- ・熱中症暑さ指数計を行う

資金の計画

- ・委託費収入と補助金収入で円滑に努める
(施設機能強化事業補助金・子育て支援保育士事業補助金)

その他

- ・ホームページにて財務諸表、現状報告書、総括表、事業計画書、事業報告書、苦情報告を公開。
- ・玄関でデジタルフォトフレームを活用して、教育・保育活動写真の公開回数を増やす
- ・園だよりの裏面に教育・保育の様子を写真を連載する
- ・園規定等の見直し
- ・職員福利厚生の実充実
- ・職員体制の改善
- ・研修の充実(キャリアアップ研修に参加)
- ・職員休憩時間の確保

別紙参照書類

- ・職員名簿・園児名簿
- ・年間行事
- ・幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画
- ・体育指導
- ・げんき工房
- ・各クラスの運動遊び
- ・おおぞらカフェ
- ・園外保育
- ・健康指導計画
- ・食育指導等